

# 今までの技術支援や諸活動を振り返って

## - 沿岸海洋研究に魅せられた 10 年 -

応用力学研究所 技術室 石井 大輔

応用力学研究所に入職して早や 10 年が過ぎ、これまでに多種多様な技術支援や諸活動を行なってきた。今年度で長期派遣先の教員が定年退職し研究室がなくなることを受け、自身においても一旦の区切りということもあり、この機会を活用して今までの足跡を本稿に綴ることにした。

以下に、今まで携わってきた業務内容や諸活動について簡単に述べるが、大きくは 3 つに分類される。なお、各項目の詳細については、本研修時の発表に代えさせていただく。

### ■ 研究開発技術支援 ※対象：海洋生態系分野、東アジア海洋大気環境研究センター、他の海洋系研究分野

- ー 沿岸海洋学に関する研究活動、修士／博士過程の学生指導
- ー 論文執筆、学術学会／シンポジウム・ワークショップなどでの講演
- ー 海洋観測における技術支援／開発支援、観測機器の操作運転・保守管理

### ■ 情報系技術支援 ※対象：研究所全体（計算機室、所内の研究室）

- ー 研究室における PC/WS、計算機サーバ/クラスタ、ネットワーク関連の運用管理や技術支援
- ー 東アジア海洋大気環境研究センター内におけるネットワーク、ルータ/SW 関連の運用・保守管理
- ー 所内研究員の要求（仕様、用途、予算など）に応じた HPC 計算機、通信機器等の導入支援・技術支援
- ー 大型計算機やメール/ウェブサーバ等をはじめとする所内基幹サーバやネットワークインフラの運用管理
- ー 所内の PC・ネットワーク関連トラブルに対する技術支援、各種ウェブサイトの作成・編集
- ー 所内で運用するウェブサービスやシステムの仕様設計・構築/運用管理

### ■ 技術室/技術職員としての先進活動

- ー 技術室の将来構想立案（組織再編・業務支援体制など）、中堅若手による基盤強化活動の立案・運営
- ー 総合技術研究会をはじめとした各種技術研究会での発表/聴講参加
- ー 外部資金獲得のための積極申請や採択による成果貢献
- ー 九州大学技術研究会の創設/主動、九州地区や全国区への展開模索・促進活動
- ー 大学代表として全国大学高専会議への出席、諸機関との意見交換/連携強化

上記 3 つは全て何かしらの形で支援協力いただいたのだが、中でも「研究開発技術支援」に特化した今までの様々な研究成果や諸経験は、応用力学研究所 柳哲雄教授（九大名誉教授）との出会いがなければ成し得なかったことである。それまで海水浴以外に海と触れ合う機会は殆どなく、海洋学という学問すら正直知らない状況でお世話になり始めた筆者は、これまで国内外を問わず、数多くの海洋観測を柳先生とともに体験し、海の楽しさや厳しさ・難しさなどを教えていただいた。柳先生との研究や観測（や飲み会）に纏わる思い出話は尽きない。

一介の技術職員が十年来にわたって海洋研究に従事し、海洋学の発展に少なからず貢献できたことは何事にも代えがたい。末筆ながら、今までこのような環境を快く提供していただき一緒に仕事をさせていただいたこと、そして、多大なるご理解と懇切なご支援を継続していただいたことに対し、柳先生へ深甚なる謝意を表します。